



相模原市立 公文書館だより

第4号 平成28年10月

現在、開催中の企画展や、我が館のお宝文書と言える歴史的公文書などを紹介します。

第7回企画展

「水なき台地と呼ばれた相模原台地の変貌」の紹介



平成28年12月17日まで、第7回企画展「水なき台地と呼ばれた相模原台地の変貌」を開催しています。

相模原のかんがい事業は、明治初年の「相模原開田計画」をきっかけとして、軍都計画や戦後の食糧難など、時代の波を大きく受けながら、相模原畑地かんがい事業へとその姿を変えていきました。しかしながら、その後の高度経済成長の中で宅地化などにより、大規模な畑地かんがいを維持管理することは困難との判断から畑かんの廃止が決定され、現在では、その一部は緑道などとして利用されています。

水に乏しい相模原台地、人口増加で水をより必要とする横浜や川崎地区と、水の豊かな津久井地域との関係を知っていただく展示となっています。

市内で見かける緑道や現在使われていない水路など、「なぜここに？」という疑問に答えが見つかるかもしれません。ぜひ、お越しください。

歴史的公文書の紹介

我が館のお宝文書と言える歴史的公文書を紹介します。

公文書名は「鳥屋観測所、気象月報綴」です。

神奈川県旧鳥屋村（現在の相模原市緑区）に神奈川県測候所の一観測所として鳥屋観測所が設置されていました。

この観測所は、国が全国に設置した気象観測拠点の一つで、観測記録は県を通じて国へ報告されていたものです。気象台などの国や県単位の気象観測記録は、集約され保存されていると考えられますが、鳥屋村のように一観測所の記録が大正3年（1914年）から昭和53年（1978年）まで保存されているのはまれではないかと思われま。しかも温度、降水量といった定量的な記録にとどまらず、梅の開花、ツバメの飛来、菊開花など生物・植物の季節に応じた自然の状態までも生物現象報告として記録され、公文書として保存されています。



今年の8月は相模原市消防局の調べで30 を超える日が21日ありそのうち、最高は38 の猛暑日が1日、つぎに34 が4日も出ています。しかしながら、大正4年8月の観測記録を見ると最高気温が30 を超える日は1日のみで30.6、翌5年8月は29.8が最高です。大正・昭和と引き継がれてきた記録が、大切に保存されていたことでわかる事実の一つではないでしょうか。

なお、今回紹介したお宝文書のデータをまとめた冊子、「津久井町の気象」（1冊1,840円）を公文書館で販売しています。



インターネット検索の紹介

相模原市が保有する歴史的公文書の情報をインターネットで検索することができます。
検索方法は、分類番号、個別名称、文書件名、文書作成年度による検索などができます。

< 検索対象 >

明治6年度(1873年度)から平成19年度(2007年度)まで
整理作業が終了したデータを随時更新していきます。

最新の情報は、相模原市立公文書館にある目録で確認してください。

< 検索システムアドレス >

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shikumi/031235.html>



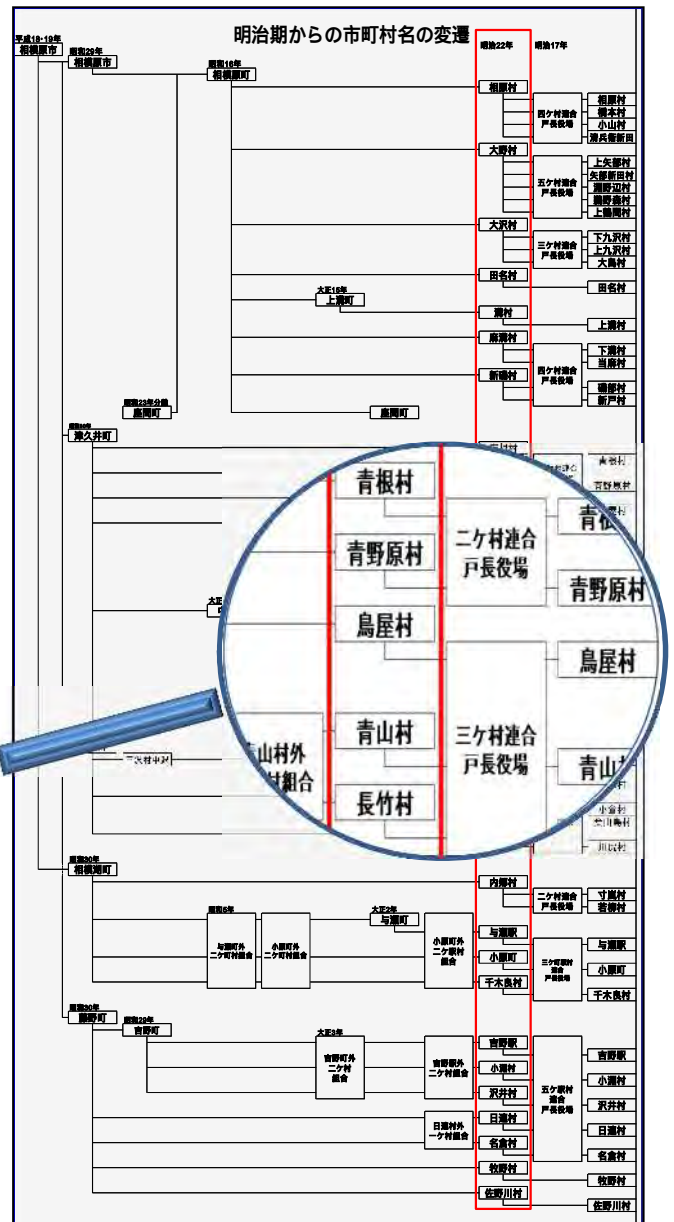
第6回企画展

平成28年5月17日から8月14日まで、「歴史的公文書の分類とその利用」の展示を行い、期間中167人の来館者があり、歴史的公文書など36点をご覧いただきました。

歴史的公文書により親しんでいただけるよう、その分類や選別の基準を中心に展示しました。

また、条例が公布されるまでに作成される公文書を展示して、公文書の流れもわかるようにしました。

さらに、明治期の村から、現在の相模原市までの合併の系図(右図)と地図を作成して展示しました。現在の相模原市はかつての高座郡と津久井郡の両郡からなることから、今回これを初めて作成したものです。



公文書館講座「はじめての公文書館～歴史的公文書の利用～」

平成28年7月8日(金)午前9時30分から正午まで、公文書館講座を初めて開催しました。

今回の講座は公文書館の役割や利用方法を学びながら、歴史的公文書を実際に見る、読む、触れる体験をするものです。

当日8名の参加者で、公文書館に初めていらっしゃった方がほとんどでした。

館長の講義や利用説明の後に、実際に歴史的公文書を見ていただき、内容、紙質、字体などから書かれた時代を感じていただけるようでした。

その後、目録作りの様子や書庫などの見学と意見交換を行いました。

意見交換では、公文書館を市民にもっと知ってもらうための工夫が必要などの意見をいただきました。

公文書館にとって、「生の意見」を聞けるととても貴重な時間でした。



◇◇公文書館の今後の事業予定◇◇

第7回企画展(開催中)

「水なき台地と呼ばれた相模原の変貌(相模原開田計画と相模原畑地かんがい事業)」

(平成28年9月23日～12月17日)

第4回講演会

平成28年10月29日(土)

第8回企画展 平成29年1月ごろを予定

詳しくは「広報さがみはら」などでお知らせします。

～編集後記～

公文書館も開館して2年が過ぎました。近況としては歴史的公文書の利用請求が継続的にあり、また、企画展・講演会などに期待を寄せる方など多くいらっしゃいました。だんだんと市民の皆様のお仲間になりつつあるのかなと、勝手に思っております。

これからも「親しまれる公文書館にするには」を大事にしていこうと思っています。(H)

公文書館だより 第4号 Ver1
編集発行 相模原市立公文書館
発行日 平成28年10月1日
〒252-5192 相模原市緑区久保沢1-3-1
城山総合事務所第2別館3階
電話 042-783-8053

